

9月1日「防災の日」に仙台駅、福島駅および郡山駅前 街頭啓発活動を実施！

～災害時の身の守り方・ハザードマップの大切さを訴えました～

日本損害保険協会東北支部（委員長：原 直人・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社常務執行役員・東北地域担当）および同支部福島損保会（会長：小林 秀次・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社福島支店 支店長）は、9月1日（金）8時から仙台駅、福島駅および郡山駅前で防災にかかる街頭啓発活動を実施しました。

今年の9月1日「防災の日」は、防災の日制定のきっかけとなった関東大震災の発生から100年の節目の年でもあります。5月に起こった能登地方での地震をはじめ、今夏の豪雨や台風など、近年は全国各地で自然災害による甚大な被害が生じており、平時から防災に関する各種備えや意識向上の必要性が高まっています。

節目となる日に改めて防災について考えてもらうきっかけにさせていただくため、当日は東北支部委員会および福島損保会に参画している損保会社社員が、通勤・通学の時間帯にハザードマップの大切さや、災害時の身の守り方などを記載した啓発ツール（クリアファイル・チラシ）の配布を通じて、市民の皆さんに注意を呼びかけました。当支部では引き続き、防災・減災に関する取組みを推進してまいります。



仙台駅前配布グッズ



福島、郡山駅前配布グッズ

＜仙台駅前での活動の様子＞



通勤・通学途中の市民に配布



マスコミからの取材を受ける原委員長

＜福島駅前での活動の様子＞



啓発ツールを配布する小林会長

＜郡山駅前での活動の様子＞



通勤途中の市民に配布

当日は、仙台駅、福島駅および郡山駅のいずれにおいても、複数のマスコミからの取材がありました。

以 上